

# 国際シンポジウム

## 放射性廃棄物低減に向けた現状と将来の展望

### ～次世代の安心に向けた挑戦～

日時:2016年2月17日(水) 9時30分～17時30分(9時開場)

会場:星陵会館(東京都千代田区永田町2丁目16-2)

#### プログラム

9:30～9:50	<b>1 シンポジウム開催あいさつと来賓あいさつ</b> 主催者挨拶 日本原子力研究開発機構 理事長 児玉 敏雄 来賓挨拶 文部科学省 研究開発局長 田中 正朗
9:50-10:30	<b>2 基調講演</b> 経済協力開発機構原子力機関 事務局長 William D. Magwood, IV
10:40-12:15	<b>3 国内での取組</b> ◆核分裂エネルギーシステムのあるべき姿 NPO法人ニュークリア・サロン代表理事 藤家 洋一 ◆放射性廃棄物低減に向けた原子力機構の取組 日本原子力研究開発機構 副理事長 田口 康 ◆高速炉サイクルの研究開発ともんじゅ、常陽の役割 日本原子力研究開発機構 高速炉研究開発部門次世代高速炉サイクル研究開発センター長 上出 英樹 ◆加速器を用いた分離変換技術の研究開発とJ-PARCの役割 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター 分離変換技術開発ディビジョン核変換システム開発グループリーダー 辻本 和文
13:15-15:15	<b>4 海外での取組</b> ◆仏国ASTRIDでの構想と将来展望 仏原子力・代替エネルギー庁 革新技術・原子力支援本部長 Sylvestre Pivet ◆中国における研究と将来展望 中国科学院 副院長 Wenlong Zhan ◆米国における研究と将来展望 米エネルギー省原子力担当副次官補 John W. Herczeg ◆印国における研究と将来展望 印インディラ・ガンジー 原子力研究センター 化学部先進燃料検討セクション長 Krishnamurthy Ananthasivan
15:30-17:30	<b>5 パネルディスカッション</b> 「放射性廃棄物減容化・有害度低減に向けた 研究開発成果の将来の核燃料サイクルへの反映と国際協力への期待」 モデレーター:日本原子力研究開発機構 理事長シニアアシスタント 佐賀山 豊 パネリスト:科学技術振興機構 革新的研究開発推進プログラムプログラムマネージャー 藤田 玲子 他、上記3より2名(JAEA)及び上記4より4名
17:30-17:35	<b>6 閉会挨拶</b> 日本原子力研究開発機構理事 吉田 信之